

津房地区の皆様へ  
まちづくり協議会の事務局は  
月・火・木の週三日開いています  
ご意見などお寄せ願います。

# 津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

第32号 平成31年3月  
発行：津房地区まちづくり協議会  
事務局：津房地区公民館内  
電話：48-2001



機械力で大量の土砂を撤去



作業後全員で集合写真

**旧津房小学校のグラウンドは、ふれあい運動会や、津小文化祭などのイベントに際しての駐車場として使用しますが、永年に亘る土砂の堆積で排水路が埋まり、また、周辺部に堆積土砂が連なっていることも加わって、グラウンド全体がいつもジメジメとした湿地状態で、駐車場としてたいへん使いにくい状況でした。**

同様に、現津房小学校の敷地内外の各排水路とも土砂の堆積により機能低下しており、また、校地内には不要となった樹木を伐採したあとの切り株がアチコチに散在して学校行事の邪魔になるなどの不都合がありました。

これら不都合を解消して地区の生活環境を改善することを趣旨に、津房地区農地・水・環境保全活動組織を構成する各集落役員に作業出役を呼び掛けたところ、殆どの団体から二人ずつ、計15人の出役と、同組織の菅原維範代表所有のコンボとダンプロック提供の協力を得て、去る2月23日、6時間あまりの作業により大幅な改善が図られました。

ただ、作業量が多かったことから、同日のみでは完了できず、やり残した雑木の伐採などについて、来たる3月24日に作業を行い、不都合を一掃する予定です。

**旧津小跡地ほかの環境改善を図りました**  
津房地区農地・水・環境保全活動組織の二協力により



全員で確認作業



参加者の集合写真

**毛無尾共有林の現地確認実施**

今期の毛無尾共有林管理会事業として、去る2月24日の午後、区長有志と当協議会の会長、ふるさと振興部会三役などから成る13名と、共有林の日常管理を委嘱している二人の専門委員を合わせた計15名で現地確認作業を行いました。

昨年は全員で蔓切り作業を行いました。2年続けての作業は要らないのではとの専門委員の見解に従ってことしは特段の作業は行わず、一般的な見廻り、ヒノキの若木ゾーンの獣(鹿)害状況と近い将来の枝打ち事業に向けた視察、今後の林道内の搬出道路の補修などについての協議を行いました。

毎回の事ながら、専門委員の元永さんと糸永さんで事前に進入路の草刈りをして頂いたことで、当日の通行が極めてスムーズに運びました。

一方、毎年行う現地確認のもう一つの目的は、新任区長さんに当共有林の場所や状況を理解してもらい、後継世代への引継ぎ役を果たしてもらうとのことにあります。今回は4人の区長さんが該当し、専門委員より図面と境界杭により共有林の全容を理解して頂く場となりました。

写真でお判りのとおり、地区出身の篤志家が村に贈り、先人が育てた共有林は見事な美林として残っています。

## 平成30年のリサイクル資源回収活動のご報告です

当協議会と津房小学校との共同取り組み事業、「リサイクル資源回収活動」の昨年実績について下表にてご報告いたします。

古紙23トンの回収量を森林資源保護の観点で評価すると、樹齢30年(直径14センチ、高さ8メートル)の立木460本に相当する資源の節減に、また、アルミ缶1.3トン(約5万本)の回収により津房地区の全所帯(約640戸)が3日間使用する全電力相当の節約になります。

地区のみなさんの絶大なご協力により、大きな実績を上げることができ、感謝申し上げます。

倉庫賃料などの経費を差し引いた収益金については、津小と折半、それぞれの活動、事業において活用させて頂きます。

回数	売却月	古紙類		アルミ缶など		ビン類		市より報奨金(円)	売却金小計(円)
		数量	金額	数量	金額	数量	金額		
		kg	円	kg	円	本	円		
1	1月	4,340	30,380	350	11,600	440	2,200	13,020	57,200
2	4月	5,060	35,420	190	7,600	531	2,655	15,180	60,855
3	5月	0	0	200	8,000	542	2,708	0	10,708
4	8月	5,660	39,620	290	10,100	337	1,685	16,980	68,385
5	10月	4,390	30,730	280	9,700	716	3,580	13,170	57,180
6	12月	3,820	26,740	350	10,400	914	4,570	11,460	53,170
	合計	23,270	162,890	1,660	57,400	3,480	17,398	69,810	307,498

古紙類：新聞・雑誌・段ボールの合計

ビン類：一升瓶とビール瓶

## 神事用座椅子の格安提供のご案内

地区の各神社において祭典や神事が催行されますが、氏子全般の高齢化に伴って神事の席(拝殿)で正座するのが困難となり、ちょっとした腰掛け(低いイス)があれば良いのだが・・・との声を耳にします。

そこで、当協議会の活動団体の「あんき工房」(木工を楽しみ、併せて実用品・特産品づくりをめざすグループ)では、前記の声に応えるようなイスを製作し、材料実費のみの格安で提供することにしました。各集落の神社または自治会で下記の仕様の座イスを希望される場合、当協議会の事務局へお申し込み願います。

【イスの仕様など】

- ・材料/仕上げ;木製(SPF材)/ニス仕上げ
- ・サイズ;長さ900mm x 幅360mm x 座面高さ250mm(二人掛け用)
- ・頒布価格;1脚あたり600円(脚数制限なし)

【申込期限】4月15日

【申込先】Tel.48-2001 事務局(岡 又は 佐藤)